一般質問の質問者順番と質問事項

（令和４年　第１回定例会）

質問順位	７　　５番 議員　　末次　明	
質問事項１	基山町職員の雇用形態と人事行政の在り方について	
質問の要旨	基山町のために働く職員はたくさんいらっしゃるが、雇用形態が複数ある。町民の役場職員に期待するものは大きく、改めて「ひと」の重要性を認識したい。仕事の全てを役場職員がやる時代ではないが、町職員を「育てる」「次世代に継承する」ことが必要ではないか。松田町長の考える基山町職員とはどのようなものか問う。	
具体的な質問及び質問の相手	（１）　基山町職員という定義が、町民から見ると職種が幅広く複雑である。町長の考える基山町職員（一般職）とはどのようなもので、トップとして期待すること、職員に接する時に心掛けていることは何か	町　長
	（２）　基山町職員は地方公務員法や地方自治法に基づいて運用されているが、給与体系をはじめ勤務形態も違う「職員」で構成されていることについて ア　現状の「正規職員」「臨時的任用職員」「会計年度任用職員」などの雇用形態の割合構成で今後も運営していくのか。どのような基準で配置しているのか イ　ここ数年、災害の増加やコロナ禍の影響で正規職員への負担が増えていないか。正規職員からの声は収集されているか ウ　仕事の継承の観点から若手の正規職員に「仕事のノウハウ」は適切に引き継がれているか	町　長
	（３）　年度途中での職員募集が頻繁に行われているが、常態的にギリギリでの採用人員なのか	町　長
	（４）　会計年度任用職員としての保育士の募集が多いが、年度途中の採用が多い職種は何か	町　長
	（５）　会計年度任用職員を常態化する理由は何か	町　長
	（６）　指定管理の事業はここ数年変化はないが、町民会館や総合体育館は次回以降も現状の業務維持の方向か	町　長
	（７）　新規採用する職員に求めるものは何か	町　長
	（８）　職員は研修を受ける権利がある。職員育成のプランと成果はどのようなものか	町　長
	（９）　新型コロナ感染症の長期的な影響により、民間では既に労働体系や感染リスクのある業務が見直されている。町として危機感はあるか、そして対応策は検討しているか	町　長